

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)

	石油事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,757,515	56,322	1,813,838	—	1,813,838
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,393	20,898	24,292	△24,292	—
計	1,760,909	77,221	1,838,130	△24,292	1,813,838
営業費用	1,737,217	78,008	1,815,225	△23,443	1,791,781
営業利益又は営業損失(△)	23,692	△787	22,904	△848	22,056
II 資産、減価償却費及び資本的 支出					
資産	1,138,174	37,121	1,175,296	66,875	1,242,171
減価償却費	24,119	147	24,267	△774	23,492
資本的支出	25,449	198	25,647	△218	25,429

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な製品名又は事業内容

(1) 石油事業：揮発油・ナフサ・灯油・軽油・重油・原油・潤滑油・L Pガス・アスファルト・石油化学製品等

(2) その他の事業：工事業、保険代理業、リース業、旅行業、通信事業、不動産の売買、賃貸及び管理業務等
不動産事業の売上高、営業利益及び資産は、連結財務諸表に占める割合が10%未満であるためその他の事業に含めて表示しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当連結会計年度における「その他の事業」の売上高は853百万円、営業費用は1,071百万円それぞれ増加し、営業利益は217百万円減少し、資産は3,213百万円、減価償却費は51百万円、資本的支出は1百万円それぞれ増加しております。

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(751百万円)の主なものは、管理部門に係わる費用であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(80,448百万円)の主なものは、余資運用資金及び管理部門に係わる資産等であります。

5 会計処理方法の変更

連結子会社であるコスモ松山石油㈱は、製商品・半製品並びに原材料の評価基準及び評価方法について、従来の後入先出法に基づく原価法から総平均法に基づく原価法に、また、製油所の機械装置に係る定期修繕費用について従来の定期修繕時に費用処理する方法から、定期修繕費用の当期対応額を計上する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、石油事業の営業費用が295百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

当連結会計年度（自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日）

	石油事業 (百万円)	石油開発事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,830,940	9,772	62,054	1,902,767	—	1,902,767
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,657	23,625	11,873	37,157	△37,157	—
計	1,832,598	33,397	73,928	1,939,924	△37,157	1,902,767
営業費用	1,816,402	25,452	73,391	1,915,246	△36,645	1,878,600
営業利益又は営業損失 (△)	16,195	7,945	536	24,678	△511	24,166
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	1,151,639	60,465	38,429	1,250,534	△3,804	1,246,730
減価償却費	20,628	2,710	115	23,454	△612	22,842
資本的支出	21,239	3,305	150	24,695	△563	24,131

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な製品名又は事業内容

(1) 石油事業：揮発油・ナフサ・灯油・軽油・重油・原油・潤滑油・L P ガス・アスファルト・石油化学製品等

(2) 石油開発事業：原油の生産、採掘及び探鉱

(3) その他の事業：工事業、保険代理業、リース業、旅行業、通信事業他

3 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産（24,852 百万円）の主なものは、余資運用資金及び管理部門に係る資産等であります。

4 会計処理方法の変更

連結子会社コスモエンジニアリング㈱は、請負工事に係る収益の計上基準を従来は工事完成基準によっておりましたが、当連結会計年度における新規着工工事より、長期・大型工事（工期 1 年以上かつ請負金額 1 億円以上）については工事進行基準を適用することとしております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当連結会計年度のその他事業の売上高が 312 百万円多く計上されており、営業利益が 9 百万円増加しております。

(事業区分の変更及び営業費用の配賦方法の変更)

事業区分については、従来「石油事業」「その他の事業」の区分によっておりましたが、当連結会計年度より「石油事業」「石油開発事業」「その他の事業」に変更しております。この変更は「石油開発事業」に関する事業の重要性が増してきたことから事業活動をより的確に開示するため、従来「石油事業」に含めておりました「石油開発事業」を独立区分することとしました。

また、この事業区分の変更に伴い従来配賦不能営業費用としていた管理部門に係る費用を見直し、当該費用を各セグメントに負担させることでセグメント別の営業損益をより適正に表示するため、各セグメントに配賦することとしております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当連結会計年度の営業費用は「石油事業」670 百万円、「石油開発事業」16 百万円、「その他の事業」34 百万円がそれぞれ増加し、各事業の営業利益はそれぞれ同額減少しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

前連結会計年度（自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日）

	石油事業 (百万円)	石油開発事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,746,659	10,855	56,322	1,813,838	—	1,813,838
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,222	19,676	20,898	43,797	△43,797	—
計	1,749,882	30,532	77,221	1,857,636	△43,797	1,813,838
営業費用	1,736,058	22,389	78,040	1,836,488	△44,706	1,791,781
営業利益	13,823	8,142	△818	21,147	909	22,056
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	1,091,591	63,539	37,121	1,192,253	49,917	1,242,171
減価償却費	21,792	2,353	147	24,293	△801	23,492
資本的支出	22,532	2,959	198	25,689	△260	25,429

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度（自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日）及び当連結会計年度（自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日）における本国以外の国または地域に所在する連結子会社の売上高及び資産は、いずれも連結売上高及び連結総資産の 10%未満となっております。このため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前連結会計年度（自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日）及び当連結会計年度（自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日）における海外売上高は、いずれも連結売上高の 10%未満となっております。このため、海外売上高及び連結売上高に占めるその割合の記載を省略しております。